

平成28年度 指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成28年4月1日 ~ 平成29年3月31日

平成28年度 指定管理者評価シート<1> 指定概要 (指定管理者によりご記入をお願いします。)

施設概要	名 称	川西市久代デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市久代3丁目16番30号
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の援護施設を設置する。
利 用 料 金 制	非利用料金制 ・ <u>一部利用料金制</u> ・ 完全利用料金制	
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容	<p>※ 指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人福祉法第5条の2第3項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関すること。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関すること。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関すること。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関すること。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関すること。</p>	
指定期間	平成24年4月1日 ~ 平成29年3月31日	

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	
区 分		指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		A		1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	
(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		B		(1-1) 施設の設置目的である事業運営の達成	
①法令や利用のルール、事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限に有効活用するとともに、施設の設置目的に沿った成果が得られたか。	A	介護保険制度に基づき、在宅の要支援・要介護者に対し、個別通所介護計画を作成し、介護予防通所介護・通所介護サービスを提供いたしました。 公的な事業者として、他施設で受け入れ困難な独居の重度利用者の受け入れもいたしました。	A	他の民間施設では受け入れが困難な方についても積極的に受け入れており、目的に沿った運営が行われています。		意見なし
②利用に係る登録方法や手続について、利用者に対し十分に周知を行い、適正な方法で行われたか。	A	契約時に重要事項説明書と契約書の読み合わせを行い、ご本人ご家族に利用にあたっての疑問点等がないように説明しています。 居宅介護支援事業所のケアマネジャーにもできる限りの同席をお願いして実施しています。	A	居宅介護支援事業所にも可能な範囲で同席を求め、利用者やその家族に疑問が残らないよう、適切な手続きの履行に努めています。		意見なし
③施設の設置目的に応じた効果的な営業や広報活動を行い、その結果、効果があったか。	C	毎月、利用者、居宅介護支援事業所に対して広報紙や施設のサービス内容の周知や曜日別の利用状況一覧表を配布し、新規利用者の紹介をお願いする活動を継続して実施していますが、利用者の増にはつながりませんでした。	C	新規利用者の獲得に向けて利用者や居宅介護支援事業所に広報活動を行っており、評価できます。しかしながら利用者数は減少しており、効果にはなかなかつながらない状況です。		意見なし
< 課 題 >		通所介護単独の施設であり、新規利用者の減が続いています。		提供サービスの種類を利用者のニーズに合わせて増やす、といった対応ができないため、利用者の確保に苦心されています。		意見なし
< 改善内容 >		広報活動を継続するとともに、居宅支援事業所のケアマネジャーとのコミュニケーションをとり、施設のPRをしていきます。		引き続き、新規利用者確保のために居宅介護支援事業所への広報活動・交流を図ってください。		意見なし
(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		A		(1-2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	
①施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	居宅介護支援事業所からは、「重度利用者であっても対応してもらえるのは助かる」等の声も聞かれ、公的施設としての一定の評価をいただいています。設置目的に従ってご利用者の気分転換やご家族の介護負担の軽減に努めました。	A	他の民間施設では受け入れが難しい方についても積極的に受け入れており、セーフティネットとしての機能も果たしています。利用者とその家族が安心できるように配慮しており、設置目的に則って活用していると言えます。		意見なし
②施設の利用者や実施された事業への参加者数の増加、サービス利用者の利用回数の促進など創意工夫が図られたか。	A	諸行事を行う時、利用日以外の利用者を追加利用の形で案内し、利用いただけるよう対応したり、通院のある日を振替希望される方の希望を反映できるようにしたり、少しでも減少率を軽減する対応を実施しています。	A	新規利用者の獲得に向けて広報活動を行ういっぼうで、現利用者の利用回数増に向け、本来の利用日以外の日についても柔軟に対応するなど、積極的に取り組んでいます。		意見なし
< 課 題 >		利用者増のための新たな取り組みが必要です。		引き続き、利用者の増加を目指してください。		意見なし
< 改善内容 >		居宅支援事業所との丁寧な利用者状況の交換を重ねることで、利用者の状況がケアマネジャーに明確に伝わるようになります。		日頃から居宅介護支援事業所との連携を密にすることで、施設利用時の本人の状況等を、担当ケアマネジャーが詳細に把握できます。		意見なし
(1-3) 利用者の満足度	A		A		(1-3) 利用者の満足度	
①利用者の満足度を把握するため、定期的にアンケート調査などを実施したか。	A	例年、第4四半期にアンケートを配布し、次年度のサービス向上や事業内容に反映できるよう努めています。	A	年度末の時期にアンケートを実施し、次年度の運営に活かそうとしています。		意見なし
②利用者アンケート調査の結果から、施設利用者ニーズや満足度を把握し、事業の改善等が得られたか。	A	利用者やご家族から、花見やボランティア行事などの要望が多く寄せられているため、コスモス園への散策リハビリ、ボランティアの手作りや歌唱、サックス演奏、落語などを要望に応え実施しました。	A	利用者やその家族から要望の多かった事項を反映した行事を実施するなど、利用者が満足できるように努めています。		意見なし
③利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	苦情があれば、迅速・丁寧な対応に努めています。	A	苦情があった際には、迅速に対応し、職員間でも情報共有を行う等、適正な処理を行うようにしてください。		意見なし
④アンケート調査以外に、さまざまな手法で利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A	午前中の入浴を待っている余暇時間には、何をして過ごすかを個々の利用者ごと、塗り絵や読書、創作活動(折り紙など)、編み物、コミュニケーションを楽しむ時間と様々な個別支援しています。	A	利用者の要望を汲み取った上で、必要な支援を個別に実施されており、評価できます。		意見なし
⑤サービスの質を向上させるため具体的な取組みを行ったか。また、取組みの結果、どのような効果が得られたか。	A	午前中の活動が多様化したことで、利用者からの要望が出やすくなりました。	A	活動内容の種類を増やし提示することで、利用者のニーズとサービスとのマッチングがしやすくなりました。		意見なし
< 課 題 >				特になし。		意見なし
< 改善内容 >				特になし。		意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】			
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】	B		A		2 効率性の向上に関する取組み 【効率性】			
(2-1) 経費の節減	A		A		(2-1) 経費の節減			
① 施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みが行われ、その効果が得られたか。	A	水道光熱費やガソリン代等の経費に関しては、継続して、各職員に経費節減の意識付けを周知徹底しています。	A	職員全員が経費節減に努めた結果、金額が前年度よりも減少しています。	意見なし			
② 管理運営業務の遂行にあたり、業者発注や業務委託により行われる場合、適切な水準で行われ、経費が最小限となるような競争が行われたか。	A	修繕等においては可能な限り経費を節減できるように、複数業者から見積りを取っています。また備品・消耗品購入においても、販売価格等を確認し、可能な限り安価に調達するよう努めています。	A	経費節減のため、販売価格の確認や複数業者からの見積もりを取るなど適宜実践しており、評価できます。	意見なし			
< 課 題 >	施設の老朽化に伴い、設備等の修繕が多くなってきています。		修繕が必要な箇所については、計画的に取り組んでいってください。					
< 改善内容 >	修繕計画を立て、市と協議しながら計画的に進めます。		施設が老朽化しているため、軽微な修繕については引き続き複数業者から見積もりを取り、大規模なものについては市と協議して進めてください。					
(2-2) 収入の増加	B		B		(2-2) 収入の増加			
① 収入を増加させるための具体的な方法の検討や取組みを行ったか。	B	サービス提供体制加算の上位算定が取れるよう、介護職員へ介護福祉士資格取得を勧めています。	B	新規利用者獲得が容易ではない中、職員側の体制を見直すなど、収入増加に向けて違う視点からも取り組んでいます。	意見なし			
② 収入の増加など取組みの効果は得られたか。	C	新規利用者の契約数が伸びず取組みの効果は得られていません。	C	新たに2名の職員が介護福祉士資格を取得しましたが、利用者数の伸び悩み等から、全体の増収には至りませんでした。	意見なし			
< 課 題 >	安定した利用者の確保が必要です。		新規利用者の獲得が喫緊の課題です。		意見なし			
< 改善内容 >	居宅介護支援事業所へ情報提供などの取組みを継続することで利用者増を図るよう努めます。		居宅介護支援事業所への広報活動に加え、併設の老人福祉センターとも協力して施設全体の知名度を向上させてください。		意見なし			
(2-3) 収支のバランスなど	B		B		(2-3) 収支のバランスなど			
① 収支のバランスは、適切であったか。	C	利用者の減少に伴い、介護保険収入が減収となりました。また、中重度ケア加算において過誤返金の必要が生じました。増収への取組みを継続して実施していますが、改善に至っていません。(前年度比 201人の減)	C	利用者が減少している点、個々のサービス利用回数が伸び悩んでいる点などが影響し、減収となりました。	意見なし			
② 費用対効果を考えながら、経費の効果的で効率的な執行が行われたか。	B	利用のキャンセルが多い時は、介護職員の勤務調整を行い、人員配置を工夫しています。	A	人件費を最小限に抑えるべく、加配になる場合には勤務調整を行うなど、費用対効果を意識して運営しています。	意見なし			
③ 収支の内容に不適切な点はなかったか。	A	収支に関して、適切に処理しています。	A	過誤や支払トラブル等もなく、適正に収支の管理をされています。	意見なし			
< 課 題 >	事業費等の経費の削減は必要ですが、契約者数の増加が第一の課題です。		経費節減については、サービス提供の質の確保との兼ね合いもあり、限度がありますので、利用者の増加に努めてください。		意見なし			
< 改善内容 >	困難事例を受け入れることはもとより、介護福祉士資格取得者の専門性の高さを活かし、より利用者の立場に立ったサービスを提供しているデイサービスであることを積極的にPRします。		新規利用者獲得に向け、居宅介護支援事業所への広報活動を継続するとともに、資格取得によるサービス提供の体制強化を実現し、PR内容に取り入れてください。		意見なし			

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課
区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	A		A		3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】
(3-1) 管理運営の実施状況	A		A		(3-1) 管理運営の実施状況
①法令や市等の指導に基づき、施設の管理運営に、適切な人員配置をされていたか。	A	人員や加算対象の要件に関して、法令で定められたチェックリストを毎年作成し、県民局に提出しています。その際、年間通じての人員配置や加算要件等に問題の有無についてチェックを実施しています。	A	法令に則ったチェックも実施しており、適切な人員配置に努めています。	意見なし
②法令や市等の指導に基づき、業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B	新任研修をはじめ、『県の集団指導』、『介護事故、大規模災害時における初動対応に強い、考えるべき記録の書き方』、『半固形栄養法について』、『糖尿病とそのケアについて』等に参加しました。	A	サービス提供の質の向上につながる様々な研修に参加する機会を設け、職員のスキルアップに努めている。	意見なし
③経費の節減やサービス提供の質など、管理運営が適切に行われていたか。	A	利用者数に応じた出勤調整や27年度に行った照明機器のLED化で電気代の経費において、継続した成果を得られています。	A	費用対効果を意識し、サービスの質を低下させない範囲で経費節減に取り組んでいます。	意見なし
④施設の良好な管理運営を進めるため、新たな取組みについて、指定管理者自ら提案・検討を進め、実施されたか。	B	前年度に引き続き、児童センター、老人福祉センターと共催して世代間交流を行いました。28年度は、老人福祉センターの大正琴と詩吟グループの練習に児童が参加し、最後はデイサービスで発表会を行いました。	A	左記の発表会を終え、デイサービスの利用者からは「演奏できなくても、観客として参加できて嬉しい」と好評を得ました。併設施設の特性を有効に活用しています。	意見なし
< 課 題 >		全ての職員が研修を受講できるようにして、職員の資質向上に努める必要があります。	特になし。		意見なし
< 改善内容 >		研修計画を立て取り組みます。	特になし。		意見なし
(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		A		(3-2) 法令順守、個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など
①法令に沿った適正な事業の実施を行うだけでなく、チェック体制などの整備や機能をさせているか。	A	担当者会議や通所介護計画書の実施及び策定状況等について、平成28年4月に社会福祉施設管理業務適正実施プロジェクトチームを設置し、法令に則った適切な事業運営ができるようチェック体制を整備しました。	A	チェック体制を強化するためにプロジェクトチームを設置するなど、事業運営の一層の適正化に努めています。	意見なし
②施設利用者の個人情報保護などの取扱いが適切に行われているか。	A	個人情報使用同意書を契約時に締結し、個人ファイル等は鍵付き保管庫、パソコンファイルにあっては、本部サーバのみに保存する事を徹底しています。	A	個人情報を鍵付き書庫に保管するなど、適切に対処しています。また、パソコン上での取り扱いにも制限を設け、情報の流出防止を徹底しています。	意見なし
③日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されているか。	A	朝夕の職員会議で、個々の利用者の身体状況の変化等について情報共有し、リスク管理を徹底し事故の防止に努めています。	A	1日に2回、利用者の状況について情報共有を行い、事故防止に努めています。	意見なし
④防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であるか。	A	年2回の防災訓練を実施し、訓練の反省を生かして、対応の見直しも適時行っています。	A	年2回防災訓練を実施し、そこで出た反省点を適宜管理体制に反映するよう努めています。	意見なし
⑤事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルを作成するなど適切な対応ができるように整備しているか。	A	施設内外での事故マニュアル及び災害マニュアルは作成済みです。また偶発症例については、発生時毎に状況が異なることから、各職員の動き等を職員会議で確認し、次の対応に反映させています。	A	緊急用マニュアルを作成し、職員に周知しています。また、マニュアルにない事例においても、対応方法が適切であるかを検討する体制を確立しています。	意見なし
⑥利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮したか。					
⑦利用者が限定される施設では、利用者の選定を公平でかつ適切に実施したか。	A	法令上など問題になる場合を除き、全て受入れる方針で対応しています。	A	法令に則り、適切に受け入れを行っています。	意見なし
< 課 題 >			特になし。		意見なし
< 改善内容 >			特になし。		意見なし

A	優 良
B	良 好
C	課 題 含
D	要 改 善

施設名	川西市久代デイサービスセンター	管理者	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会	所管課	健康福祉部 長寿・保険室 長寿・介護保険課	区分	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】	指定管理者一次評価 【市所管記入欄】	指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】
評価項目及びポイント	評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)		評価レベル	なぜその評価に至ったか(説明)				
総合評価	指定管理者自己評価結果 【指定管理者記入欄】		指定管理者一次評価 【市所管記入欄】		指定管理者二次評価 【外部評価者記入欄】				
評価ランク	A			A					
・評価できる内容	最重度で寝たきりかつ独居の利用者の継続した利用に伴い、送迎時の介助作業を通所介護計画に位置づけ、公的な機関のセーフティネットとして一定の役割を果たしました。利用者や家族・ケアマネジャーからも信頼されています。		他の民間施設では受け入れが困難な方についても積極的に受け入れており、目的に沿った運営をされています。経費節減の意識を高く持ち、人件費においては加配になる場合に勤務調整を行うなど、費用対効果を高めるように努めています。		意見なし				
・平成28年度に改善した内容	職員の積極的な利用者への声掛けやケアマネジャーとの意見交換が活発にやり取りされるようになったため、利用者の要望や意見が今まで以上に反映されるようになり、サービスの向上につながりました。 また、法人として、内部監査を実施し、未収金等の確認、小口現金の管理方法等のチェック、兵庫県のチェックリストの確認、市の実地指導の確認を行いました。		利用者や居宅介護支援事業所とのコミュニケーションを日頃から大切にしておられ、サービス提供の質の向上につながっています。 また、内部監査を行うプロジェクトチームを設置し、収支においても適切な管理運営を徹底しています。		意見なし				
・平成28年度に改善したことによる効果	午前中の余暇の時間の過ごし方が、手芸、編み物、塗り絵、習字、読書、創作(折り紙など)、脳トレクイズ、コミュニケーションと多様化し、利用者にとって、単にお風呂の待ち時間ではなくなり、自分のしたいことをできる時間となりました。 内部監査を行い、職員の法令遵守の意識を高め、会計担当職員の能力向上を図ることができました。		利用者の要望を様々な形で反映しており、満足度の向上につながっていると言えます。 内部監査等を通じ、職員の法令遵守の意識を一層高めることができました。		意見なし				
・問題があり次年度以降改善が必要な点	利用者の各記録が、生活相談員、介護職員、看護職員がそれぞれ別々に記録し保管しているため、情報が分散して効率的な記録方法になっていません。 また、年々、利用者数が減少している中で、収支のバランスをとるには難しく、今後のデイサービスセンターのあり方等を早急に検討していく必要があります。		利用者に関する情報の管理体制について、職種ごとにまとめた情報を一元化する、もしくは互いに確認し合える柔軟な仕組み作りが望まれます。個人情報保護にも注意を払いつつ、効果的な取り組みを検討してください。 また、利用者が減少している状況で収支のバランスを整えるため、新規利用者の獲得に向けた広報活動や、サービスの質を保てる範囲での経費節減等に努めてください。		具体的な方策の検討を。				
・改善方法とその時期	利用者の各記録の効率化については、現在、介護報酬の請求事務だけで利用しているシステムに利用者情報が記録できるシステムを追加することにより効率化を図ることが可能となります。 導入することによって、担当者会議等で必要な記録を効率よくまとめることも可能になります。 (平成29年4月より実施) 今後のデイサービスセンターのあり方等の検討については、川西市と連携して取り組んでいく必要があります。		システムの追加導入により、情報共有の効率化を図ります。 導入に当たっては、マニュアルの作成や操作研修の実施等、職員の業務に混乱を来さない配慮をお願いします。 利用者獲得が容易ではない中、今後の運営等について適宜市と協議しながら進めてください。		意見なし				

【記入上の留意点】

- (1) 指定管理者は、自己評価記入欄に、市所管課は、一次評価記入欄に評価を記入いただきますようお願いいたします。
(2) 水色の表観覧にはドロップダウンで評価(A、B、C、D)が選択できます。評価欄の濃淡ピンク色の部分は、水色の部分に評価を入力すると自動的に総合評価が表示されます。